

リスタート構想に基づく整備に伴いアメリカバイソン「ターバン」が引っ越します ～お別れ記念ガイドの開催～

動物公園では、リスタート構想（平成26年3月）に基づく平原ゾーンの展示施設整備に向けて、家畜の原種ゾーンで現在展示中の動物を順次、園内の他の区画や他の動物園へ移動する計画です。

このたび、アメリカバイソン「ターバン」が姫路セントラルパークへ旅立つことになりましたので、お知らせします。

つきましては、飼育担当者によるお別れ記念ガイドを開催しますので、併せてお知らせします。

1 平原ゾーンの整備区画（別紙参照）

家畜の原種ゾーンを再編し、猛獣を間近で観察でき、ライオンやチーター等とのパノラマ展示でアフリカ平原の生態風景を再現します。

※平成27年6月にアジアスイギュウ、ラマは同構想に基づき引っ越し済み

2 平原ゾーン整備スケジュール

平成29年度	実施設計、展示動物の移動開始
平成30～31年度	工事エリアの閉鎖・着工（予定）
平成32年春	平原ゾーンの展示施設公開（予定）

3 アメリカバイソン「ターバン」お別れ記念ガイドの開催

(1) 日時

平成29年12月17日（日）13:15～13:30

※天候により変更または中止の場合もあります。

(2) 場所

アメリカバイソン展示場前

(3) 内容

飼育担当者がアメリカバイソン展示場前で、「ターバン」の思い出等を交えたガイドを行います。

4 引っ越しについて（予定）

(1) 日時

平成29年12月20日（水）（※一般非公開）

(2) 引っ越し先

姫路セントラルパーク（兵庫県姫路市豊富町神谷1436-1）

5 「ターバン」について

(1) 性別

オス

(2) 生年月日

2001年7月4日生まれ（満16歳）

(3) 来園年月日

群馬サファリパークより2002年10月16日に来園（受贈）

(4) 飼育状況

現在は引っ越し準備のため、メス「ヒート」と仔「ラテ」との入れ替え展示中（※展示時間は日によって変わります）

アメリカバイソン「ターバン」



6 現在の飼育状況

オス 1 メス 2 計3頭 飼育中

7 国内飼育頭数（平成29年12月7日現在、日本動物園水族館協会資料）

17園館：オス49頭、メス67頭、性別不明3頭、計119頭

<参考>

1 リスタート構想とは

開園後4半世紀以上が経過し、施設の老朽化や展示手法等の刷新が喫緊の課題となっていたことから、「千葉市動物公園の在り方に関する基礎調査結果」を踏まえ、老朽化、陳腐化している動物展示施設や展示形態の改善に早急に着手し、来園者満足度の向上を図り、再び賑わいを取り戻すことで、「市民に身近な動物園（私たちの動物園）としての存在と、都市の活性化につなげる集客観光施設として再生を図るもので、平成26年3月に策定しました。

【これまでの取り組み】

- 平成27年度 ①平原ゾーン整備（ライオン展示場）
②ふれあい動物の里整備（遊園地跡地）
③正門広場改修
- 平成28年度 ①ライオン展示場、ふれあい動物の里オープン
②動物科学館レクチャールーム改修

2 アメリカバイソンについて

- (1) 種目 偶蹄目(ウシ目) ウシ科
- (2) 学名 *Bison bison*
- (3) 大きさ 体長 オス 3～3.8m メス 2.1～2.5m
体重 オス820～1110kg メス 360～550kg
- (4) 分布 アメリカ合衆国中西部やカナダ西部の草原や森林に生息
- (5) 生態等 メスと子どもは、大きな群れをつくって暮らし、オスは単独やオスだけからなる小群をつくって暮らしています。

頭がとて大きく、肩が盛り上がっています。

体色は、褐色で、肩から前足、頭部、のどにかけて長く厚い毛が生えています。

オスもメスも短い角があります。乱獲により著しく個体数を減らしましたが、厳重な保護により個体数を増やしました。

※IUCNレッドリスト準絶滅危惧種（NT）に該当。